

今年のエスカルゴコンテスト

JJ1SXA/池

海の日 7月21日、昨年に引き続き、エスカルゴコンテストに出ました、昨年は、シニア部門で1位だったので、柳の下のドジョウ狙いといったところですが、ご存じの通り、エスカルゴコンテストは50MHzCW 縦ブレ電鍵でのコンテストです。

10時スタートと同時にCQを出して、10時01分に1局目、10時02分に2局目、10時03分に3局目、10時04分に4局目、おっと懐かしいコールサインだと思いつながらナンバーを送って受信、ナンバーが来ないで、いきなりツートツーツーツーだ、40年ぶり位の再会で、彼も焦ったのでしょうか、こちらはもっと焦りまくりです。

何しろ、和文QSOどころか欧文QSOも卒業して、コンテストだけにQRV、だが、これも数年前に卒業しているのだ、幸いに縦ブレ電鍵だから、スピードも70字/分弱、エレキーやバグキーでの高速CWだったら全くのお手上げだったでしょう。

こちらの年齢を告げたら、彼は、65歳と打ってきた、いやーお互い歳をとったなあという笑話になった、だが、彼は干支でいえば2廻り下、だがあの頃は彼は大学生。

思えば、はるか昔の一時期は7MHzで和文QSOを一生懸命やったり、約1時間の会社帰りの通勤モーターで数年間SXBと50MHzで和文CWをやったりしたので、ペーパードライバーでは無いが、和文CWはペーパーオペでは無いので、昔取った杵柄で何とかなったようだ、当たり前だが、和文は日本語、暗記受信で取れない符号があっても文脈で意味は通じるのでフウフウ言いながらも対応できた、和文万歳だ。

その後、コンテストを続け、11時過ぎに呼んでくれた局は、以前しょっちゅうロールコールにチェックインしていた、J△1LCK局、ナンバーを送ってきたと思ったら、続けて、「ツートツーツーツー イケサンオヒサシブリ…」ときた、今度はそんなに焦らず対応できた、久しぶりなので結構長話しになった、取れないところもあったが長話しできた(笑)

現在の無線活動？は毎朝のVWB局とのスケジュールQSOと毎週月曜日の240ロールコール、毎年の電波伝搬実験、年に数回のコンテストでLZT局とナンバー交換、それとこのエスカルゴコンテストだけだ、やはり普段から、無線をもう少しやらなければいけない、特に和文QSOは狸ワッチだけでも必要と痛感した次第、今やアマチュア無線はFT8が主流のようだが、私には、CWでのコンテストが最高、更に和文CWでのQSOも素晴らしい、クラシックモードだのと比喻されるが、CWは最高。

肝心のエスカルゴコンテストの方は、昨年はダブリチェック等済んだ最終結果は40QSOだったが、今年は、先述のように、途中で2回、和文QSOで遊んだのと、参加局が少なかった(ように思うが)ので、26局とのQSOに終わった、だがコンテストの成績よりも超久しぶりの和文QSOで最高の気分、コンテストの成績はシニア部門でも1位などとてもないと思ったが、ログ・サマリーは提出した、結果は意外や意外、想定外の1位だった。(シニア局部門のエントリーが少なかったからか?) (2025年9月記)